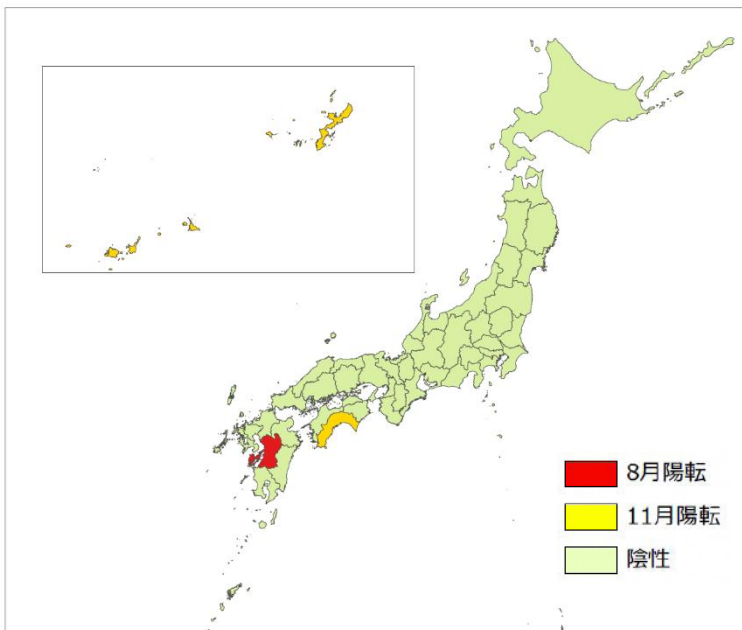


家畜衛生だより

令和8年4月発行 No.2
庄内家畜保健衛生所
庄内地区家畜畜産物衛生指導協会
TEL 0235(68)2151
FAX 0235(66)2466

アカバネ病を予防しましょう！

＜令和7年度アカバネ病抗体陽転状況＞



＜近年のアカバネ病発生状況＞

発生年	発生都道府県
平成22年	山形、岩手、宮城、兵庫、岡山
平成23年	山形、北海道、岩手、栃木、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、愛媛、高知、福岡、佐賀、熊本
平成24年	島根、広島、山口、香川
平成25年	福岡、宮崎、鹿児島
平成26年	熊本、鹿児島
平成27年	沖縄
平成28年	三重
平成29年	発生報告なし
平成30年	発生報告なし
平成31年 (令和元年)	発生報告なし
令和2年	熊本
令和3年	発生報告なし
令和4年	発生報告なし
令和5年	北海道
令和6年	岡山、高知
令和7年	発生報告なし

【農林水産省 HP：監視伝染病発生年報】

アカバネ病の発生を予防するには、予防ワクチンを確実に接種することが重要です！！

◎予防対策

・授精予定牛及び妊娠牛へアカバネ病予防ワクチンを接種することにより経胎盤感染のリスクが低下します。

また、移行抗体により生後感染の予防にも効果があるといわれていますので、初乳をしっかり摂取させ、子牛に十分な免疫を獲得させることが重要です。

ワクチン接種は、6月中（吸血昆虫が活動を始める前）に実施しましょう。

・また、感染のリスクを低下させるために、殺虫剤などの牛体への塗布や防虫ネットなどの対策を併せて行ってください。

◎アカバネ病の感染経路

アカバネ病ウイルスは、ウシヌカカなどの吸血昆虫の体内で増殖して、吸血の際に牛に感染します。

子牛に対するアカバネ病の感染経路は、主に①経胎盤感染と②生後感染の2つがあります。

①経胎盤感染

異常産の原因となる経路です！！

妊娠中に母牛が感染すると、胎盤を経由して胎子に感染し、**流死産、関節の湾曲、後弓反張などの体形異常**や**水頭症などの脳の異常**を伴った子牛が生まれる場合があります。



↑ 関節の湾曲した子牛の症例

後弓反張を呈した子牛の症例→



②生後感染

令和5年度は北海道、令和6年度は中国・四国地方での感染事例がありました

子牛が生後に直接感染する場合、運動失調や起立不能、過敏症などの神経症状を呈します。



起立不能の子牛の症例

アカバネ病の予防対策を実施するとともに、異常産や生後感染が疑われる牛が認められたときは、かかりつけの獣医師もしくは下記までご連絡ください。

家畜に異状が認められた場合は速やかに連絡を！

庄内家畜保健衛生所:0235-68-2151